

富山新港火力発電所石炭2号機の点検期間の延長について

平成25年7月22日
北陸電力株式会社

富山新港火力発電所石炭2号機は、6月14日から7月中旬の予定で設備点検作業を行っておりますが、同発電所石炭1号機で実施している煙突内の点検結果を受け、石炭2号機においても、煙突内の点検ならびに除去作業を実施することといたしました。そのため、点検終了時期を当初予定の7月中旬から8月上旬に延長しましたので、お知らせいたします。

当社は、富山新港火力発電所石炭1号機（定格出力25万kW）において、煙突より降下したとみられる小さな固形物を発見したため、煙突内の点検を実施しております。

（7月9日お知らせ済み）

点検の結果、煙突内面に厚さ最大2mm程度の固形物が付着していることを確認したため現在、除去作業を行っております。

また、設備点検作業で停止している同発電所石炭2号機（定格出力25万kW）において煙突内部の点検を行ったところ、石炭1号機と同様に固形物の付着を確認しました。

そのため、石炭1号機の作業終了後、引き続き石炭2号機の固形物の除去作業を行うこととしました。なお、作業期間は約20日間と考えております。

当面の電力需給バランスについては、一定の予備力は確保できる見込みであり、安定供給に支障はないと考えておりますが、需給状況を踏まえながら、卸電力取引所の活用などにより供給力の確保に努めてまいります。

今後の詳細な需給状況については、でんき予報などでお知らせしてまいります。

以上